

一般社団法人日本人間工学会第14回理事会 議事録

- 開催日時：平成24年3月6日（火）17:30～19:50
- 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館2F 524会議室
- 出席者：
 - ・理事会構成員(27名・定足数14名以上)
 - (理事)：斉藤進(理事長・文科省科研費)，阿久津正大(副理事長・表彰)，青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)，石田敏郎，大久保堯夫，大須賀美恵子，垣本由紀子，岸田孝弥，小谷賢太郎，斎藤真，酒井一博(横幹連・企業の間人工学教育のあり方検討委員長)，三林洋介(財務)，外山みどり(総務)，富田豊，福田康明，吉武良治(広報・テレワークアドバイザー) [16名]
 - (理事兼支部長)：横山真太郎(北海道)，八田一利(総務・関東)，萩原啓(関西) [3名]
 - [計：19名]
 - (欠席者)：岡田明(財務)，小松原明哲(編集・子どもの人間工学委員長)，土屋和夫，堀江良典(国際・第3期選管)，北村正晴(東北)，横森求(東海)，村田厚生(中国・四国)，長谷川徹也(九州・沖縄)
 - ・監事：大内啓子
 - ・オブザーバー：藤田祐志(国際人間工学連合PSE)，横井孝志(ISO/TC159国内対策委員長)，芳賀繁(安全人間工学委員長)，榎原毅(ユース対応委員長)，村木里志(第53回大会事務局長)
 - ・事務局：栗田紀子，青木彩

4. 議事概要

定足数14名を超える19名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進めた。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、三林洋介財務担当理事が指名され承認された。

【審議事項】

- (1) 第1号議案 理事会運営規程の改正について
斉藤理事長により下記の2点について改正の趣旨説明があり、承認された。
 - ・第12条に「メールによる審議及び報告の原則」を追加し、もとの12条を13条とし、附則に改正の日付を記載すること。
 - ・第9条の決議第2項の「前項の場合」を「前項前段の場合」と修正し、第1項との整合をとること。
- (2) 第2号議案 複数年会費未納者への対応
三林財務担当理事より「年会費の未納期間3年を超えた会員について督促を行い、支払いが無い場合は会員資格を喪失することとする」との提案があり、承認された。
- (3) 第3号議案 理事任期制についての答申
 - ・斉藤理事長より、社員総会と理事会における議決権の法的整理がなされた。具体的には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律、JES定款、JES理事会運営規程により、理事会の決議について特別の利害関係を有する理事は理事会の議決に加わることができないとされており、理事・

監事の任期や再任の制限には社員総会での承認が必要であることが説明された。

- ・ 富田理事より、ワーキンググループでまとめた「理事の再任制限をすべき」との結論と具体案、及びメール審議で理事等からそれらの案に対して寄せられたコメントの紹介があった。
- ・ 議論の後、2012年6月の定時社員総会後に発足する第3期に理事・監事の再任制限について検討する委員会を設置すること、また、制度を変更する場合は2013年の定時社員総会に、理事会から具体案を提案することとなった。

(4) 第4号議案 研究部会継続申請について

医療安全研究部会、衣服人間工学部会、触覚インタラクション研究部会から出された研究部会継続の申請（5年間）が承認された。

(5) 第5号議案 医療安全研究部会資料集への転載許可について

人間工学第45巻特別号と第46巻特別号の各1編について転載許可申請があり、承認された。

(6) 第6号議案 その他

阿久津表彰委員長より、功労賞の候補として平柳要氏が提案され、承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第13回理事会議事録

メール審議を経て第13回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告(2月末)

2012年2月末現在、会員数1870名(4月に比べ21名増)、賛助会員35社36口(同1社1口減)。

(1-3) IEA 役員就任について

斉藤理事長より、2月に開催されたIEA理事会においてJESが推薦した藤田祐志氏がIEA財務担当副会長に選出されたとの報告があった。続いて、藤田氏より就任のあいさつと新体制の陣容、活動の概要の説明があり、合わせてこれまでのJESの国際協力に尽力した歴代の関係者に対し、敬意の念と感謝が述べられた。

(2) 財務報告

三林財務担当理事より平成23年1月度収支決算報告があった。

(3) 第53回大会準備状況

村木事務局長より、特別講演、海外招待講演、キーノートレクチャー、高校生向けの公開講座、学会企画シンポジウム、シンポジウム等のタイトル、講演者、オーガナイザーについて紹介があった。近く、プログラムや座長を確定し、関係者に通知する予定。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 編集委員会

編集委員会より提出された報告を確認した。第48巻3号に編集委員会企画として特集「震災と人間工学」を掲載する予定。

(4-2) 国際協力委員会

小谷委員より下記の2点が報告された。

- 1) 2/11-12、ブラジル・レシフィにおいてIEA Council Meeting 2012が開催され、堀江委員長と藤田IEA・PSE委員長が参加した。会議の内容は以下の通り。

① Andrew Imada 会長報告の中で、IEAのITインフラの整備・強化にJESが協力・貢献する

旨が述べられ、JES に対して Council Member 一同拍手により謝意が表された。

②“Future of Ergonomics White Paper”について報告・検討がなされ採択された。

③以下が決定された。

- ・2013 年の Council Meeting は 8/26-27、フランス・パリで開催
- ・IEA 2018 は 8/25-9/1、イタリア・フローレンスで開催
- ・次期(2012-2015) IEA 三役が選出された。

President: Eric Min-yang Wang (台湾)

Vice President and Treasurer: Yushi Fujita (日本)

Vice President and Secretary General: Margo Fraser (カナダ)

④引き続き、2/12-2/16、18th World Congress on Ergonomics が開催された。日本からの参加者は 20 名程度であった。

2) 日韓ジョイントシンポジウム 2012 は、5/25-26、韓国・済州道にて開催の予定。詳しくは人間工学 48 巻 1 号の Call for paper 参照のこと。

(4-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、経産省への対応、次期 JENC 関連委員の応募状況、JIS 原案作成状況についての報告と、次期の事務局設置と費用及び維持の状況について説明があった。

(4-4) 日本学術会議担当

青木担当理事より、安全工学シンポジウム 2012 (2012 年 7 月 5, 6 日、日本学術会議) の特別講演の講演者は大阪大学の釘原直樹教授、内容は災害時の避難行動についてであるとの紹介があった。なお、一般演題の申込締切は 3 月 16 日。

(4-5) 表彰委員会

阿久津委員長より 11/29 に開催された委員会の報告があった。現在、主査から推薦のあった日本人間工学会論文賞候補 1 篇、研究奨励賞候補 2 編について選考を行っている。また、人間工学 GP 賞受賞候補の選定に向けて選考手続きを整備中であることについて報告があった。

(4-6) 人間工学専門家認定機構

青木機構長より、準専門家試験結果、アシスタント試験結果、総会・講演会開催について報告があった。

(4-7) ウェブアクセシビリティ支援委員会

青木委員長より委員 1 名の交代があったとの報告があった。

(4-8) 研究倫理審査検討委員会

横井委員長より、研究倫理審査機関設置について再度検討した結果、倫理審査機関は設置はせず、定期的に研究倫理指針のリバイス等を行い、研究における倫理的配慮の必要性の啓蒙、助言をする等により社会に貢献することが妥当、との結論に達したことが報告され、了解された。

(4-9) 第 3 期選挙管理委員会

総務より、第 4 回から第 6 回までの委員会を予定通り実施し、選挙が順調に行われているとの報告があった。3 月下旬には次期の体制が確定する予定。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

横山支部長より、次期の役員・監事予定者及び支部大会の大会長が報告された。

(5-2) 東北支部

2/29 に支部役員会、1/14 に第 2 回支部研究会「鉄道事業と地震・津波」、1/28 に第 3 回支部研究会「電力供給と地震・津波」を開催した。

(5-3) 関東支部

八田支部長より、次期の支部委員及び支部長の予定者が選出されたこと、及び 3/5 に見学会（東京メトロ研修センター内「事故に学ぶ展示室」、「ステップアップステーションセンター」）を実施したとの報告があった。

(5-4) 東海支部

福田理事より、支部役員の選挙を実施したこと、来年度は 5/12 に支部総会、10/27 に名城大で支部研究発表会を開催する予定であることが報告された。

(5-5) 関西支部

萩原支部長より、企画幹事会、支部選挙管理委員会の開催及び今後の予定について報告があった。また、3/24 に「日本人間工学会の国際協力活動と国際人間工学連合からみた人間工学の将来」と題する関西支部春季講演会を開催するとの案内があった。

(6) 協賛等の依頼

斉藤理事長より、8 件の依頼について協賛、後援等をする旨報告があった。

(7) 人間工学ハンドブック改訂版の出版

斉藤理事長より Handbook of Human Factors and Ergonomics 第 4 版刊行の紹介があった。

(8) (独) 日本学術振興会 平成 25 年の採用分特別研究員の募集について

斉藤理事長より上記募集の紹介があった。

(9) 年度末に向けての予定（総務）

まもなく平成 23 年度事業報告と決算書類、平成 24 年度事業計画の作成依頼を送るのでよろしく願います。

(10) 今後の理事会日程について（総務）

平成 24 年 5 月に第 15 回理事会、6/8（金）に第 16 回理事会（新旧役員対象）、6/9（土）に第 17 回理事会（新役員による理事長、副理事長選任）を開催する予定

5. 閉会

以上の議事を終え、19 時 50 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 24 年 3 月 6 日

議 長 齊 藤 進 ㊟

議事録署名人 三 林 洋 介 ㊟

議事録署名人 大 内 啓 子 ㊟